



福津市教育大綱を策定しました

国の教育振興基本計画を参考に、市長が教育委員会と連携してこれからの福津市が目指す教育の姿をまとめたものを「福津市教育大綱」といいます。今回、市民との対話を重視した新しい福津市教育大綱(以下、教育大綱)を策定したのでお知らせします。

問い合わせ 市教育総務課
☎0940・62・5092



教育大綱の 基本理念と基本目標

市は、多様な人がつながり、学び合いながら新たな価値を生み出す「共創」のまちを目指しています。子どもも大人も

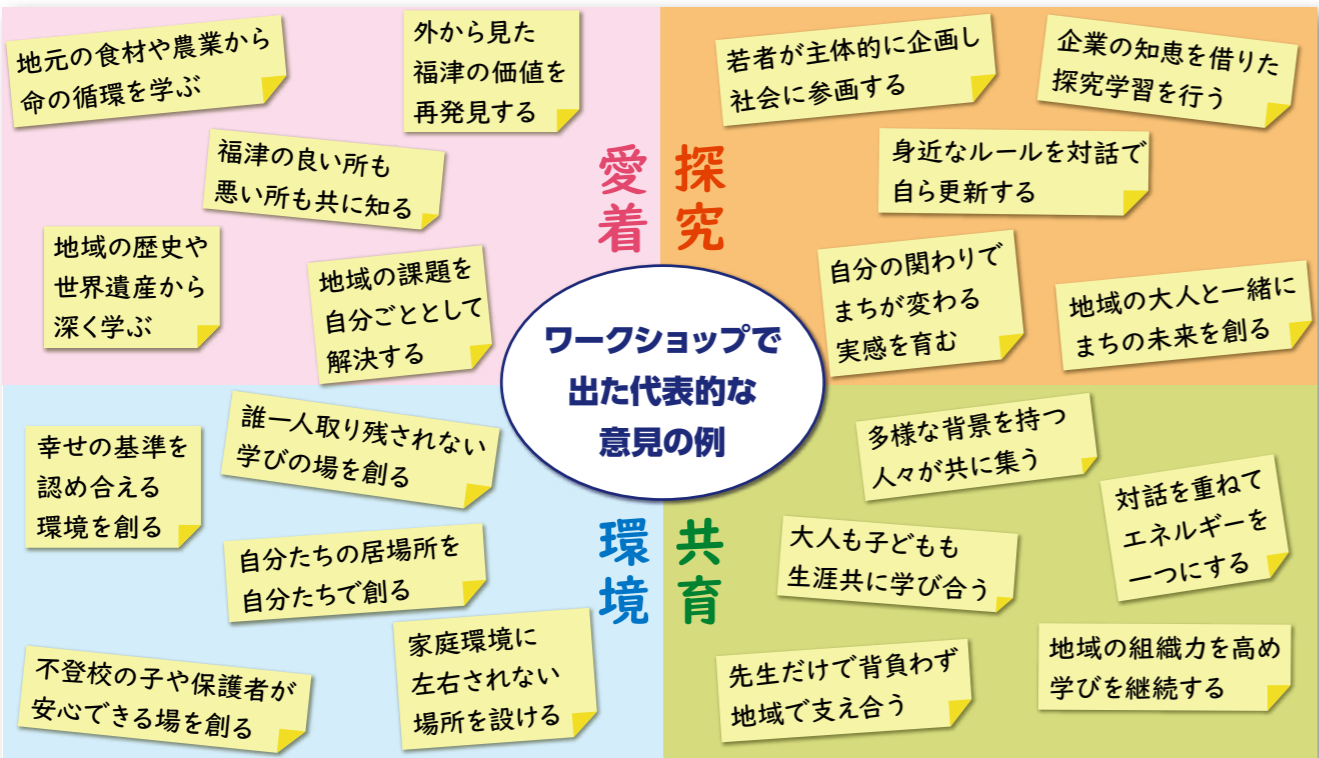
共に学び、対話し、地域と関わりながら成長していくことを大切にしています。

教育大綱では、基本理念を「誰もが『未来の創り手』として育つまち」と定め、「共創」「共育」「郷生」を基本目標として掲げています。また、地域の歴史や人とのつながりを生かし「愛着・探究・環境・共育」をキーワードに、誰一人取り残さない学びの場づくりを推進していきます。

ワークショップを開催

新しい教育プランを策定する過程で、全3回の「福津市の新しい教育プラン策定のためのワークショップ(以下、ワークショップ)」を開催し、中高生16人を含む延べ118人の市民の皆さんと対話を行いました。ワークショップでの対話を通して、第2期教育大綱を策定し、今後、第2期教育総合計画の次期計画策定を教育委員会にて進めていきます。

教育大綱の全文やワークショップの内容は、市公式ホームページをご覧ください。



基本理念 誰もが『未来の創り手』として育つまち

基本目標 その1 『共創』 (共に創る)

立場や分野の異なる人たちが、対話や共働を通して、これまでになかった新しい価値や解決策を一緒に創り出します。

子どもたちが自ら「問い」を立て、地域の人々と共に「納得解」を導き出す「探究的な学び」を進めます。地域の大人と対話し、働くことや生き方を考える経験を通じて福津への愛着を深め、自らが「まちの創り手」とあるという意識を醸成していきます。

基本目標 その2 『共育』 (共に育ち、育てる)

地域は、学校(園)や家庭で体験できない活動の機会を通して、豊かな人間性や地域への愛着、市民性を育む場所です。居場所づくりなど「社会総がかり(地域ぐるみ)」で子どもを育てる機運を一層高めていくことが求められます。

子どもたちの豊かな人間性や生きる力を育むため、学校(園)・家庭・地域のそれぞれが、その役割と責任を分かち合いながら、連携・共働し「共育」を推進します。

基本目標 その3 『郷生』 (郷に生きる)

学校(園)・家庭・地域が連携・共働して「地域と共にある学校(園)づくり」を実現します。また、学校教育と社会教育が連動し、主体的に市民が「郷(ふるさと)」に関わることで学校を核とした地域づくりを進め「郷生」の力を地域の活性化につなげていきます。

一人一人が郷の良さを生かして学び、技術や知恵を暮らしに生かし「ウェルビーイング」を実感できるまちづくりを進めます。